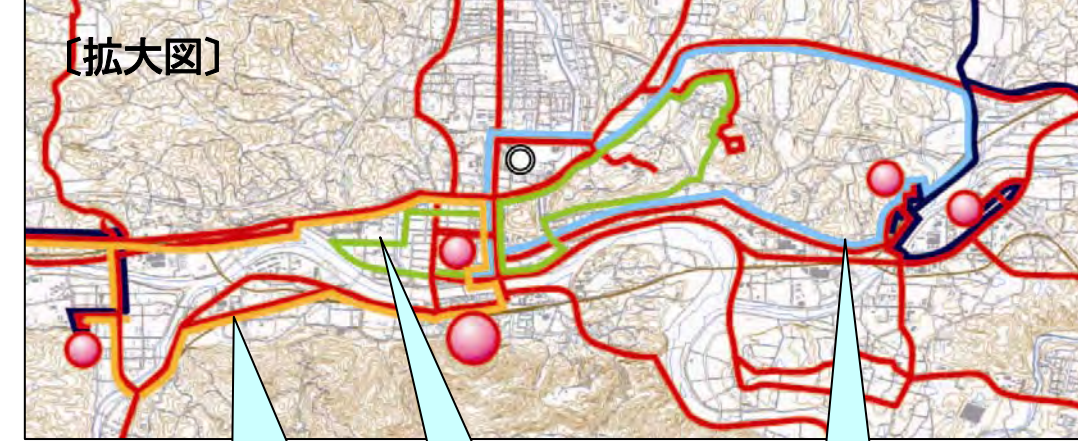


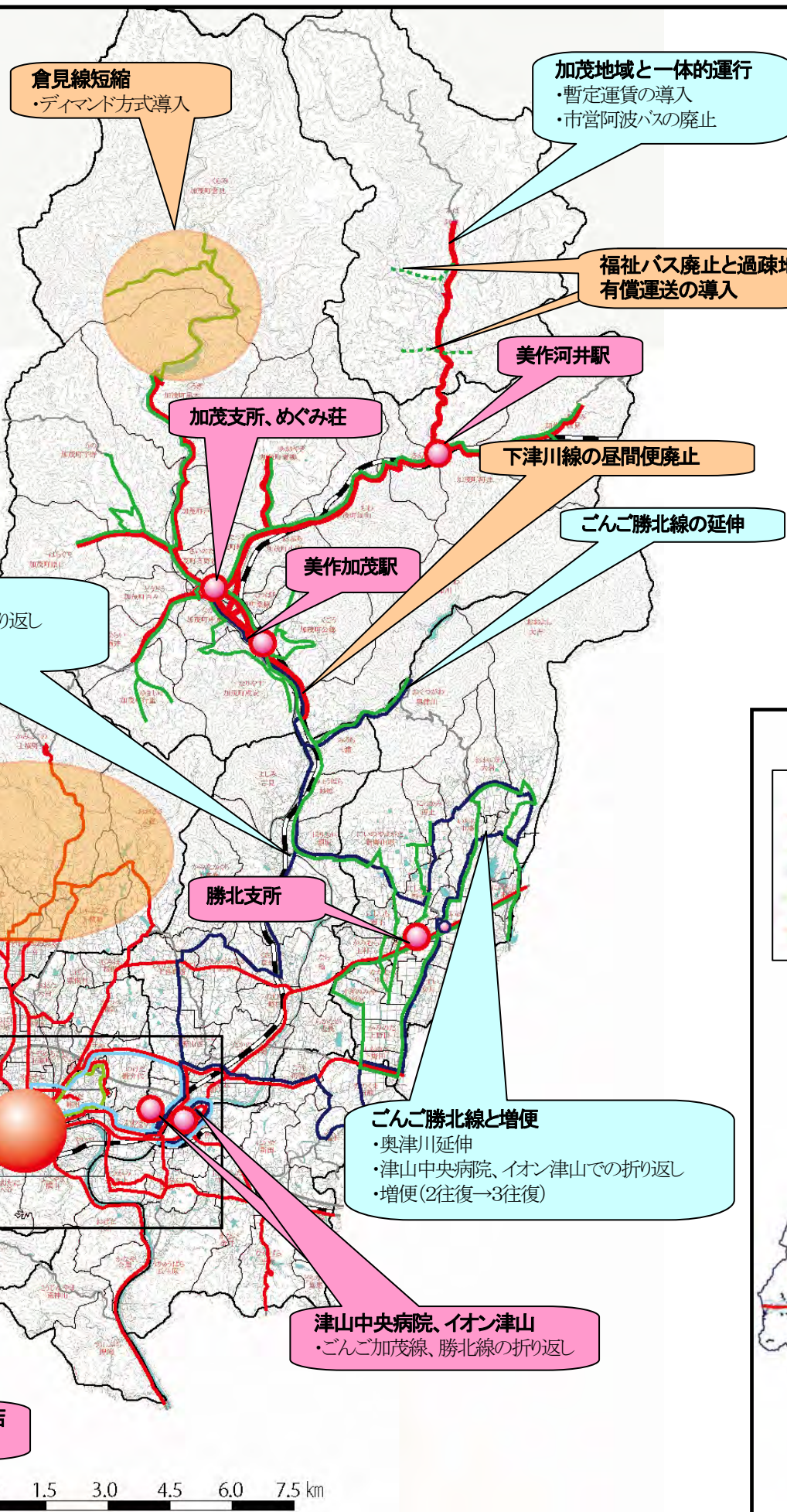
津山市公共交通総合連携計画 素案 概要

津山市の公共交通体系の具体的施策イメージ図

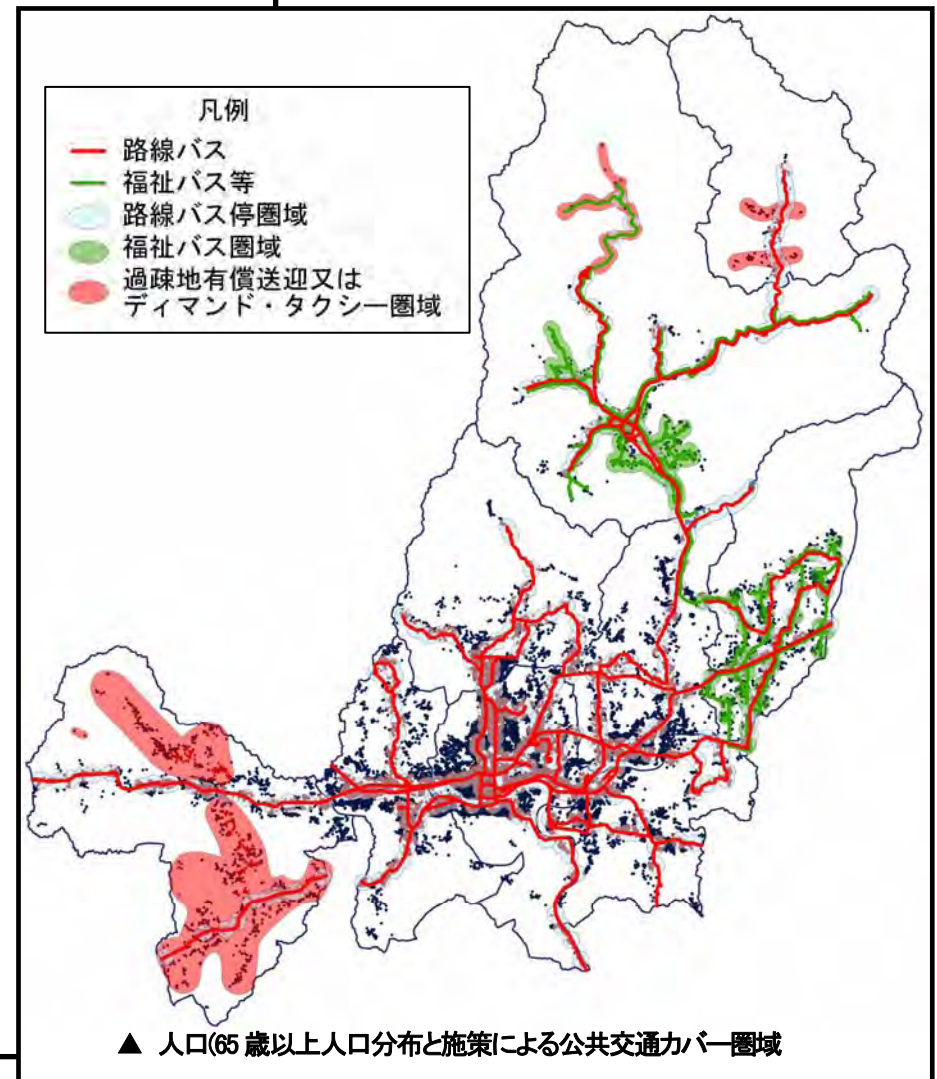


- 院庄循環線
・ダイヤ、運行本数の見直し
- 小循環線の導入
- 循環ごんごバス
・路線の見直し

- 路線バス
- 福祉バス
- 支所間ごんごバス
- 小循環バス
- 循環ごんごバス
- 院庄循環線
- 鉄道
- 乗換え地点



地域		調整内容
阿波地域	加茂地域	路線の重複と運賃の混在解消のため市営阿波バスを廃止、民間へ委託 乗り継ぎ拠点の整備(整備済み)
加茂地域	旧津山市	乗り継ぎ連絡便 →現行の循環ごんごバスで対応 但しダイヤ・経路を見直し
地域間調整事項	勝北地域	乗り継ぎ拠点の整備(整備済み) 乗り継ぎ連絡便 →現行の循環ごんごバスで対応 但しダイヤ・経路を見直し 旧津山市南東部地域で需要動向を勘案し新たな循環線導入の可能性検討を予定
	久米地域	乗り継ぎ拠点の整備 →第一病院 整備済み マルナカ院庄店 今後協議予定 乗り継ぎ連絡便 →院庄循環線のダイヤ見直しにより対応
旧津山市	合併地域	バスでカバーできない旧津山市の周辺部にダイヤモンド乗合方式の検討を依頼
		調整内容
全市的課題	福祉バスの有料化	旧津山市に福祉バスが無い 財政的に実施が厳しい 公共交通を利用しない方9人が1人の利用者を補助 ↓ 受益者負担の適正化のため有料化とする
	市営阿波バスの廃止	民間事業者と比べ、委託運行でまた運行管理者の確保が困難である ↓ 民間委託を検討



津山市公共交通総合連携計画 素案 概要

○路線別整備方針

上記を踏まえ、各路線の概要は以下のとおりとなる。

機能	形態	路線	事業主体 案	起点	主な乗換え拠点・〈経由地〉	終点	変更点等	
幹線軸	他市町村と連絡	JR	JR	津山駅	美作加茂駅 美作河井駅	鳥取駅	継続	
				姫路駅	津山駅 坪井駅 美作追分駅	新見駅	継続	
		路線バス	中鉄北部バス	津山BC	津山中央病院 イオン津山 勝北支所	行方	継続	
				津山BC	津山中央病院 イオン津山 勝北支所	馬桑	継続	
			津山BC	津山中央病院 イオン津山	勝間田駅	継続		
			スポーツセンター	津山BC	高下	継続		
			津山BC	マルナカ院庄	石越	継続		
			津山BC	マルナカ院庄	奥津	継続		
			美作市営バス	津山BC	津山中央病院	梶並	継続	
			共同運行(委託)	津山BC	津山BC	柵原病院前	継続	
	共同運行(委託)	津山BC	津山第一病院 倭文出張所(桑村上)	柵原病院前	継続			
	共同運行(委託)	津山BC	津山BC	西川	継続			
	共同運行(委託)	津山BC	マルナカ院庄	富振興センター前	継続			
	津山市内	路線バス	中鉄北部バス	ごんご加茂線	イオン津山	津山中央病院 加茂支所	めぐみ荘	起点見直し、増便、ダイヤ変更
ごんご久米線				津山第一病院	ウェストランド マルナカ院庄 道の駅久米 久米支所 坪井駅	美作追分駅	起点見直し、増便、ダイヤ変更	
中鉄美作バス			循環ごんごバス	津山BC	イオン津山 津山中央病院	津山BC	経由地見直し、増便、ダイヤ変更	
中鉄北部バス			院庄循環線	津山BC	津山第一病院 マルナカ院庄 ウェストランド	津山BC	起点見直し、増便、ダイヤ変更	
補完軸	津山市内	路線バス	中鉄北部バス	ごんご勝北線	イオン津山	津山中央病院 勝北支所 マルイ勝北	奥津川	終点見直し、増便、ダイヤ変更
				イオン津山	津山中央病院 勝北支所 マルイ勝北 〈田熊〉	新野桜橋	終点見直し、増便、ダイヤ変更	
支線	阿波・加茂地域	路線バス	未定	市営阿波バス	大杉公会堂	阿波支所	美作河井駅	運行形態及び運賃体系見直し、ダイヤ変更
				めぐみ荘	めぐみ荘	めぐみ荘	大杉公会堂	
				めぐみ荘	めぐみ荘	めぐみ荘	阿波支所	
		加茂観光バス	加茂観光バス	黒木ダム線(旧倉見線)	加茂支所	加茂支所 めぐみ荘	黒木ダム	黒木ダム-倉見地区間の路線打ち切り
				加茂小学校	加茂支所 めぐみ荘	黒木ダム		
				加茂小学校	加茂支所 めぐみ荘 〈宇野〉	黒木ダム		
				加茂小学校	加茂支所 めぐみ荘 〈宇野 原口上〉	黒木ダム		
		加茂観光バス	加茂観光バス	原口線	宇野	めぐみ荘	加茂支所	継続
				加茂駅	加茂支所 めぐみ荘	宇野	継続	
				行重線	大橋	めぐみ荘 加茂支所	加茂小学校	継続
	大橋			めぐみ荘	加茂支所	継続		
	加茂観光バス	加茂観光バス	青柳線	加茂小学校	加茂支所	青柳	継続	
			物見線	加茂小学校	加茂支所 〈青柳〉	物見	継続	
	加茂観光バス	加茂観光バス	下津川線	加茂小学校	加茂支所	物見	継続	
			下津川	下津川	加茂支所	加茂支所	ダイヤ変更・昼間便の減便	
	NPO(今後立ち上げ)	NPO(今後立ち上げ)	過疎地有償運送	阿波地域	阿波支所	阿波支所	西谷	運行形態変更・有料化
			阿波支所	阿波支所	大杉			
	委託運行	委託運行	加茂町福祉バス	上加茂ルート	めぐみ荘	〈河井〉 〈山下〉 〈知和〉 〈青柳〉	物見	有料化
				新加茂ルート	めぐみ荘	〈黒木〉 〈戸賀〉 〈宇野〉 〈原口〉	倉見	
				西加茂ルート	めぐみ荘	〈中原〉 〈百々〉 〈行重〉	成安	
東加茂ルート				めぐみ荘	〈公郷〉 〈桑原〉 〈小淵〉	下津川		
未定	未定	ダイヤモンド方式	倉見地域	加茂支所	加茂支所	倉見	運行形態変更・有料化	
			加茂支所	加茂支所	倉見			
委託運行	委託運行	福祉巡回バス	Aコース(新野方面)	勝北支所	〈影山医院〉 勝北支所 マルイ勝北 〈日本原病院〉	西上	有料化	
			Bコース(奥津川方面)	勝北支所	〈日本原病院〉 マルイ勝北 勝北支所 〈影山医院〉	奥津川		
			Cコース(広戸方面)	勝北支所	〈日本原病院〉 マルイ勝北	羽賀		
			Dコース(勝加茂方面)	勝北支所	〈影山医院〉 勝北支所 マルイ勝北 〈日本原病院〉	原		
委託運行等	委託運行等	福祉バスまたはダイヤモンド・タクシーチケット方式	宮部線	久米支所	久米支所	仲仙道公会堂前	運行形態変更・有料化	
			倭文線	倭文出張所(桑村上)	倭文出張所(桑村上)	倭文出張所(桑村上)		
中鉄北部バス	中鉄北部バス	路線バス	中鉄北部バス	榎線	津山BC		榎	継続 需要動向を見て必要ならば交通システムを変更
				高田循環線	津山BC	〈衆楽園市役所前〉 〈高田〉	津山BC	
				スポーツセンター・東一宮線	津山BC	〈衆楽園市役所前〉	スポーツセンター	
				野介代線	津山BC	〈衆楽園市役所前〉	東一宮車庫	
				野介代線	津山BC	〈衆楽園市役所前〉	野介代団地	
				野介代線	津山BC	〈衆楽園市役所前〉	西田辺	
未定	未定	小循環線	未定	津山BC	〈アルネ津山〉 〈生協〉 〈ラムー〉 〈津山中央記念病院〉	津山BC	新規	
				津山BC	〈アルネ津山〉 〈中島病院〉	津山BC		

津山市公共交通総合連携計画 素案 概要

5. 2. 計画期間と施策のスケジュール (案)

(1) 計画の期間

本計画の期間は平成22年度～平成24年度とする。

(2) 施策のスケジュール (案)

5. 1で提案した施策のスケジュールについては、関係機関との調整や工事等の関係より以下のように想定する。

▼ 公共交通連携計画の施策スケジュール(案)

	事業主体	H22		H23		H24	
		4-9月	10-3月	4-9月	10-3月	4-9月	10-3月
阿波地域	阿波地域過疎地有償運送	NPO立ち上げ	実証運行				
	福祉バス(の廃止)		過疎地有償運送の実証運行までは運行継続	過疎地有償運送により廃止			
	市営阿波バスの運賃体系見直し			現スクールバスへ切り替え段階的に是正			
	スクールバス(の廃止)		関係機関調整 調整終了までは運行継続				
加茂地域	ごんご加茂線折返し運行	バス事業者	中央病院前イオン津山停留所整備	バス整備後折返し運行開始			
	加茂地域福祉バスの有料化						
	倉見地域のデマンド方式導入	タクシー事業者	制度設計・システムの検討				
	倉見線の短縮						
勝北地域	下津川線の昼間便減便						
	ごんご勝北線折返し運行	バス事業者	中央病院前イオン津山停留所整備	バス整備後折返し運行開始			
	奥津川地区への延伸	バス事業者					
久米地域	勝北福祉バスの有料化						
	ごんご久米線折返し運行	バス事業者	第一病院停留所整備	久米支所での車庫・休憩所提供	マルナカ、ウェストランド停留所整備		
	宮部線の見直し						
	デマンド又はタクシーチケット方式の導入	タクシー事業者	制度設計・システムの検討				
旧津山市	久米福祉バスの有料化						
	循環ごんごの見直し	バス事業者					
	旧津山市中心部でのバス網再編	バス事業者	アルネ前工事	中島病院前工事 低床バス購入	イズミバス整備 小循環線、西側循環線等の運行準備		
共通	デマンド乗合運行の検討	タクシー事業者					
	バスサポート制	制度設計 募集・実施		○ 制度評価・見直し		○ 制度評価・見直し	
	インセンティブ	評価 実施	○	○	○	○	○
	計画の評価・見直し	評価 改善		評価方法検討			

5. 3 計画の目標と実証運行の評価方法 (案)

(1) 計画の目標

本計画の目標を以下のとおりとする。

- ・バス及び鉄道利用者数の増加
- ・市民の活動機会の活発化
- ・利用者満足度の向上

(2) 実証運行の評価方法 (案)

上記の目標及びこれまで提案により実施する実証運行について以下の観点から評価を行う。

1) バス及び鉄道利用者の変化

- ・本計画においては、バスをはじめ鉄道の利便性向上を図ることにより利用者の増加を目的のひとつとしている。
- ・そこで、施策の効果検証の指標として、バス・鉄道の利用者数の変化を評価指標とする。

○検証方法

調査種類	調査時期	調査方法
バス停別乗降者調査	4条バスについては年2回、委託運行路線は月1回	バス停に乗車・降車人員を調査
駅別乗降者数		市統計書より

2) 地域別活動機会の変化

- ・本計画においては、バスをはじめ鉄道の利便性向上を図ることにより生活交通の確保を目的のひとつとしている。
- ・そこで、施策の効果検証の指標として、外出の行動の変化を評価指標とする。

○検証方法

調査種類	調査時期	調査方法	調査項目
住民交通行動調査	施策の導入前後 (H22 上半期より)	住民アンケート調査 (抽出)	日常の交通行動 目的別施設 目的別外出頻度 目的別利用交通手段 等

3) 利用者満足度の変化

- ・施策の前後でどのように利用者の評価が変化したかをアンケート調査により把握する。
- ・満足度が上がった項目については継続し、さらに満足度が上がるよう新たな施策の展開を図る。
- ・逆に満足度が下がった項目については、その原因を解明し施策の改善を図っていく。

○検証方法

調査種類	調査時期	調査方法	調査項目
利用者満足度調査	施策の導入前後	老人クラブ等へアンケート調査を配布	施策の認知度 施策に対する満足度 今後の施策展開に対する意見等
	1年間に1回定期的に実施	住民アンケート調査 (抽出)	施策の認知度 施策に対する満足度 今後の施策展開に対する意見等

住民アンケート調査は、抽出作業が必要となり、また調査準備のための費用と労力が必要となること、バス利用者の中心が高齢者であることなどから、(2)、(3)と合わせて年1回実施し、老人クラブへのアンケート調査は、その補完的、速報的に使い分ける。